

放 射 線 医 学

[M6-70046P1]

1 臨床実習の概要

放射線医学実習では、各種画像診断の意義と適応を理解すると共に実際の読影業務に関わることにより実践に即した読影の基本を身につける。また放射線治療計画に関わることにより interventional radiology (IVR)、化学療法を加えた集学的腫瘍治療を理解する。実習期間中は教室の抄読会や臨床各科とのフィルムカンファレンスに出席し、チューデントドクターとして自ら抄読し、フィルムリーディングに参加する。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技術
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探究心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 放射線診療を構成する多職種と良好な人間関係を構築し、チーム医療に学生として参加できる（②④⑤）
- 各種画像診断の原理を理解する（①③⑥）
- 各種画像診断の特長を理解し、適応疾患を述べることができる（①③⑥）
- 代表的な疾患の特長的な画像所見を理解し、画像診断を進めることができる（①③⑥）
- 放射線治療、interventional radiology(IVR)など各種治療法の特長を知り、化学療法も加えた集学的腫瘍治療が理解できる（①②③④⑥）
- 画像診断における放射線被曝、造影剤の副作用を理解し、禁忌事項を把握する（①②③④）
- 放射線治療における有害事象を理解する（①②③④）
- 放射線診療における社会制度（厚生医療など）を説明できる（②⑤）

＊主要な画像診断法、治療法

- 単純 X 線撮影

- CT 検査（頭部、全身）
- 超音波検査
- MRI 検査
- 核医学検査 (PET/CT, SPECT)
- 放射線治療 (外部放射線治療、小線源放射線治療)
- Interventional Radiology (IVR)
- 集学的腫瘍治療

4 方 略

中央放射線部における臨床実習

5 事前事後学修について

- 放射線の単位（照射線量、吸収線量、線量当量、放射能）の意味を述べよ
- 画像診断検査（CT、MRI、SPECT、PET、超音波）の特徴、特に利点と欠点を述べよ
- 水溶性ヨード造影剤の禁忌事項を述べよ
- 放射線治療の感受性が高いと癌と低い癌を列記せよ

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習1日あたり 予習：40分 復習：60分

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当教員より実習中に適宜、課題に対するフィードバックを行う。

7 評 価

評価項目	評価割合
臨床実習出席（出席表）	80 %
実習レポート（担当症例のレポート）	20 %
担当患者症例提示	0 %
口頭試問	0 %
その他	0 %
上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する	

8 実習スケジュール

別項参照

9 教 育 担 当 者

実習責任者：望月 孝史（放射線医学）

担当教員：南教授、望月教授、三浦講師、柴田講師、太田助教、近藤助教、
角谷助教、野畠助教、西野助教

10 教 科 書

「標準放射線医学」 第7版 医学書院（西谷 弘、遠藤 啓吾、松井 修、伊藤 久雄
編）

放射線医学

週間スケジュール

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
										17:30	
月		読影実習 [望月](画像解析センター)				読影実習・ミニレクチャー [望月](画像解析センター)					
火	画像カンファレンス (画像解析センター)	読影実習 [南](画像解析センター)				読影実習・ミニレクチャー [南](画像解析センター)					
水		読影実習 [野島](画像解析センター)				読影実習・ミニレクチャー [近藤・西野]					
木		読影実習 [柴田](画像解析センター又は放射線治療室)				読影実習・ミニレクチャー [三浦](画像解析センター)					
金		国試対策講義				読影実習・ミニレクチャー [角谷](画像解析センター)					

第1日目の集合場所・時間：臨床研究棟2階 放射線医学医局 午前8時45分

IVRと放射線治療については、希望があれば実習選択可

画像カンファレンスには出席すること(毎週火曜日8:30より病院1号棟中央放射線部内読影室集合)

遅刻・欠席については必ず医局に連絡すること